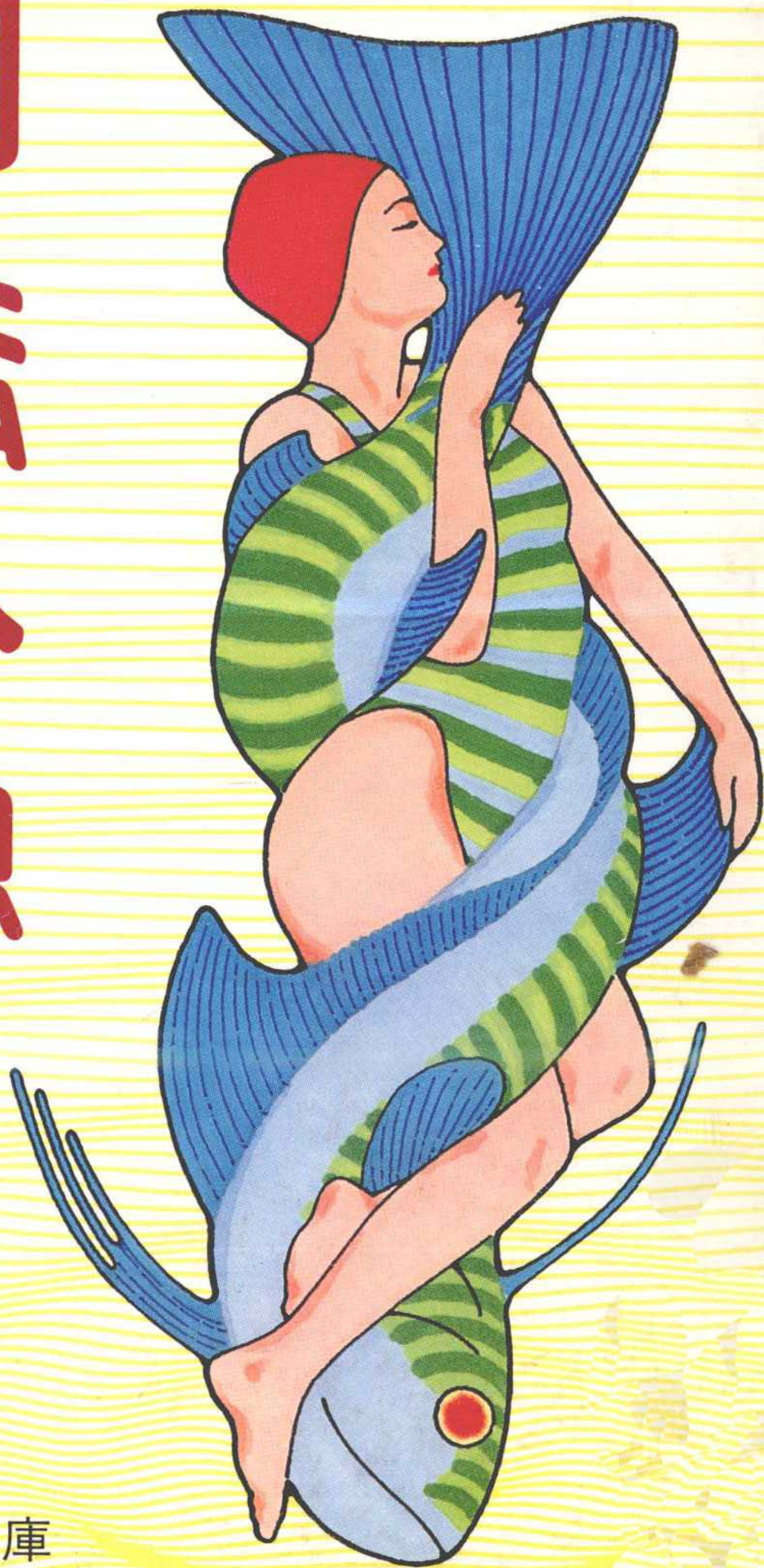


野田秀樹



回
轉
人
魚

か てん しん
回 転 人

新潮文庫

の - 6 - 5



平成元年七月十五日 印刷
平成元年七月二十五日 発行

著 者 野の 田た 秀ひで 樹き

発行者 佐藤 亮 一

発行所 株式会社 新潮 社

郵便番号 一六二

東京都新宿区矢来町七一

電話 業務部(〇三)二六六一五一一

編集部(〇三)二六六一五四四〇

振替東京四一八〇八番

価格はカハーに表示してあります。

乱丁・落丁本は 二面倒ですが小社通信係宛に送付
ください。送料小社負担にてお取替えいたします。

印刷・二光印刷株式会社 製本・加藤製本株式会社

© Hideki Noda 1985 Printed in Japan

ISBN4-10-141505-6 C0193

江苏工业学院图书馆

藏 书 章 魚

劉 田 芳 樹 省



新 潮 社 版

4298

目次

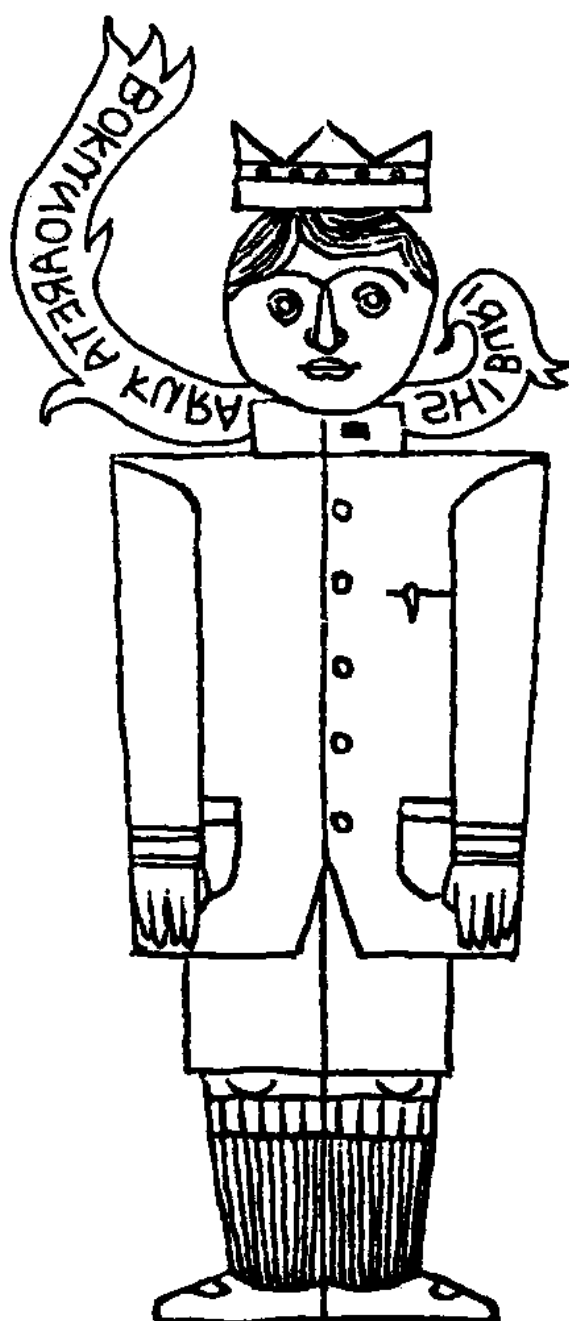
登場人物紹介……………	五
回 転 人 魚 あなたの お名前なんてーの？……………	一七
けれどもう半生——野田秀樹、野田秀樹を語る……………	一七〇

解 説 ロジャー・パルバース

△登場人物紹介▽

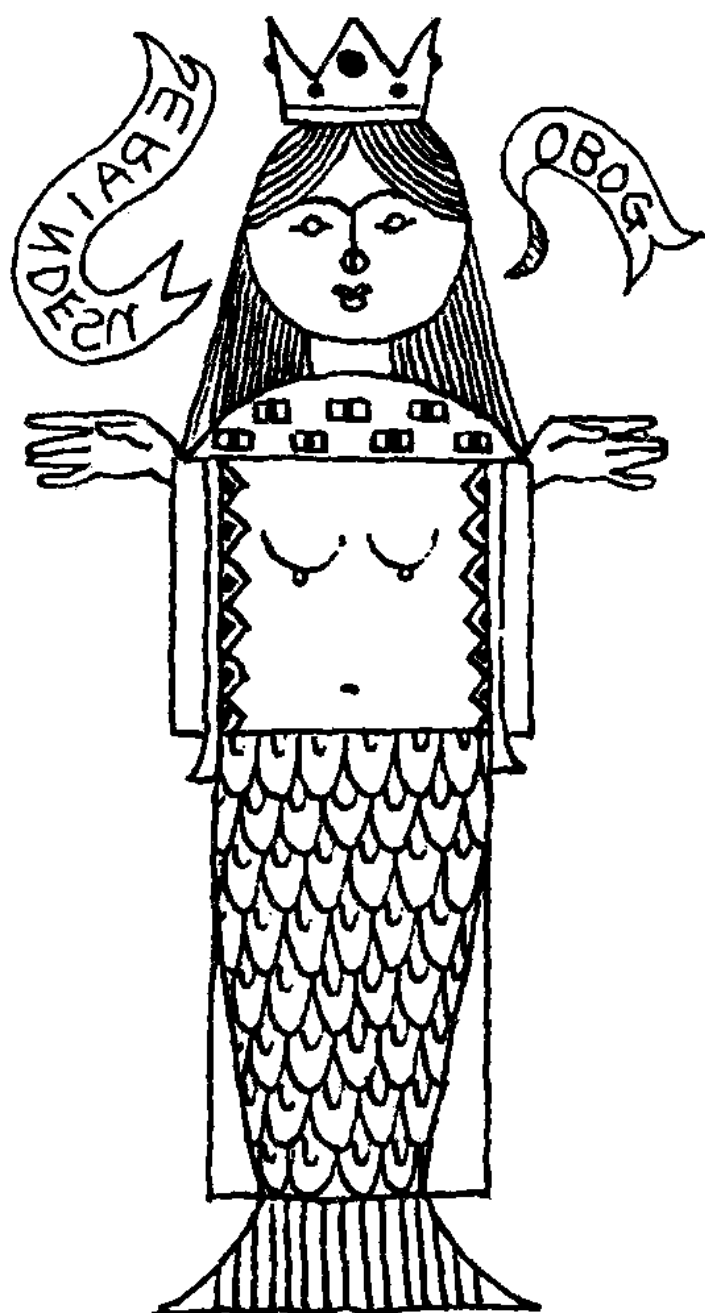
画・鈴木和道

少年王ツタンカーメン



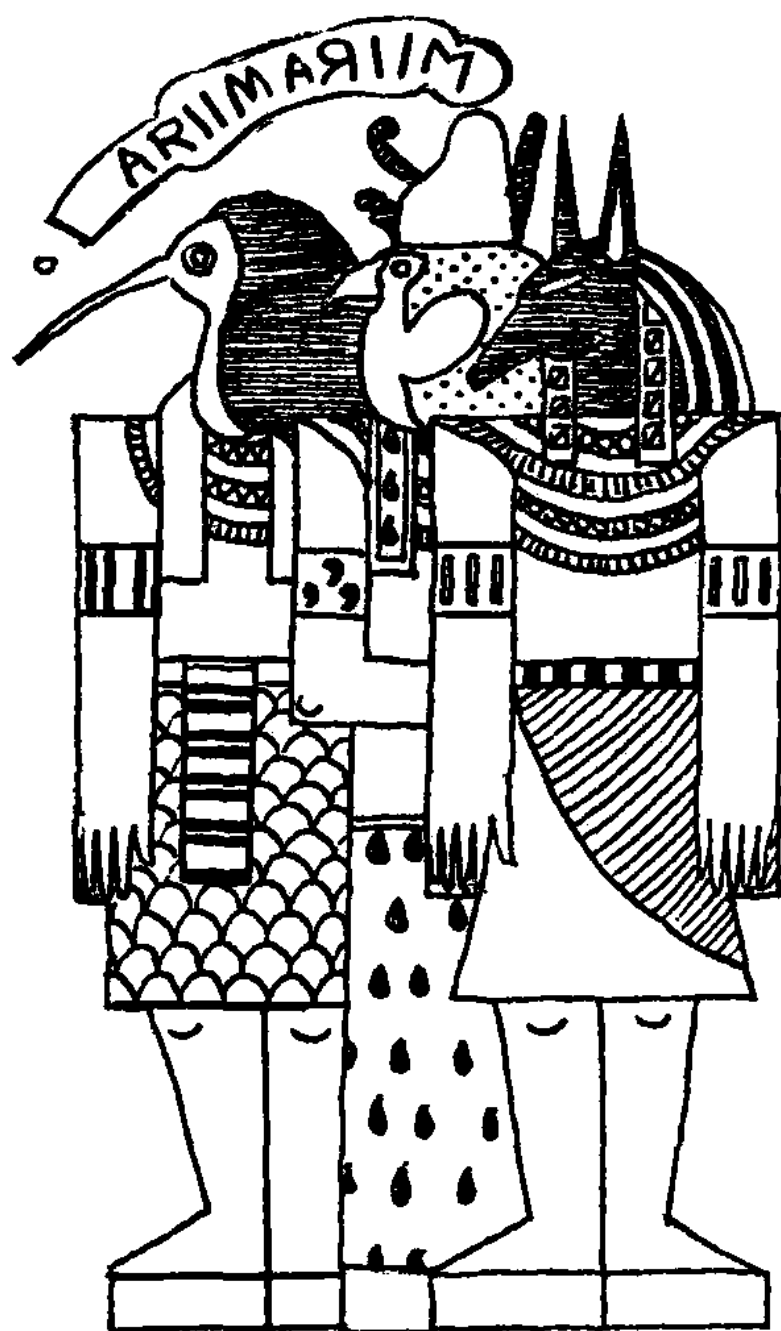
十七歳の若さで死んだ古代エジプトの少年の王様。このミイラが発見されたとき、黄金の仮面をかぶっていた。“ツタンカーメン”という響きから、思わず「ツタン仮面」と思い込んだ人の数は知れない。この芝居に出てくる少年王は、修学旅行ではぐれてしまい、生者の国と死者の国を往き来した十七歳の日本の少年。

サバの女王



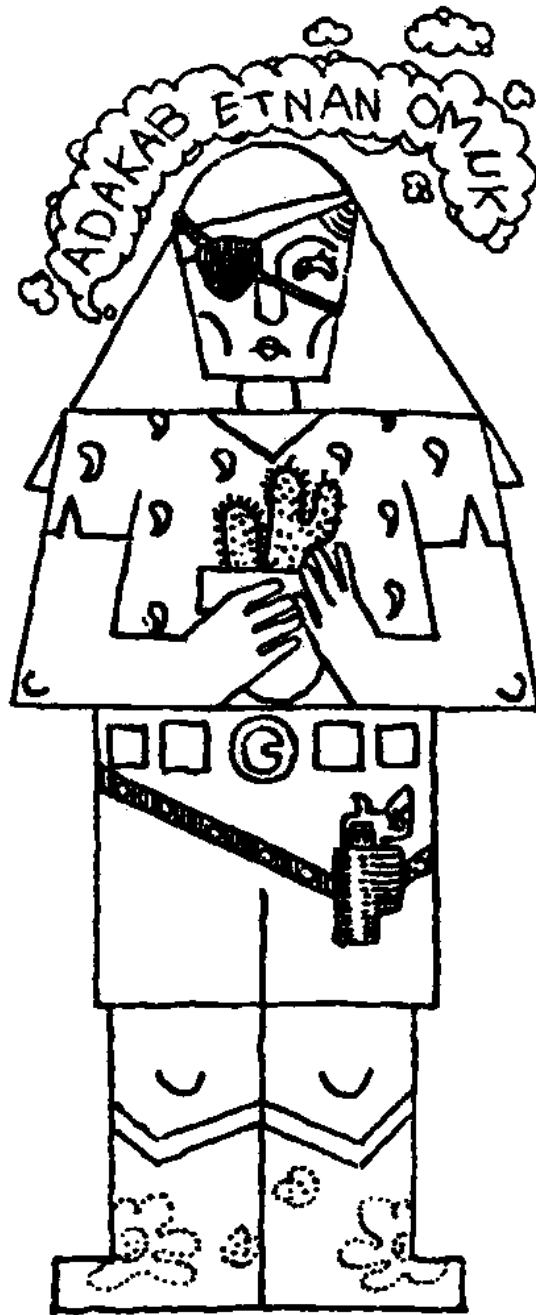
むかしむかし、ナゾナゾをするためソロモン王に会いに行ったアッチの方の女王。サバだから、魚の女王様だろうという、実に安直な思いつきでつくられたにもかかわらず、そこに、人類生誕の恐るべきナゾがあったというから世の中わからない。

アヌービス・トート・ホルス



エジプトの動物神。死者の国へ入ってくる人間を審判する。縁側でミイラをつくるのを、老後の楽しみにしている神様たち。いつの間にか死者の国から出られなくなってしまった。ミイラづくりがミイラになった、お客様おなじみの神様。

ヤボテン



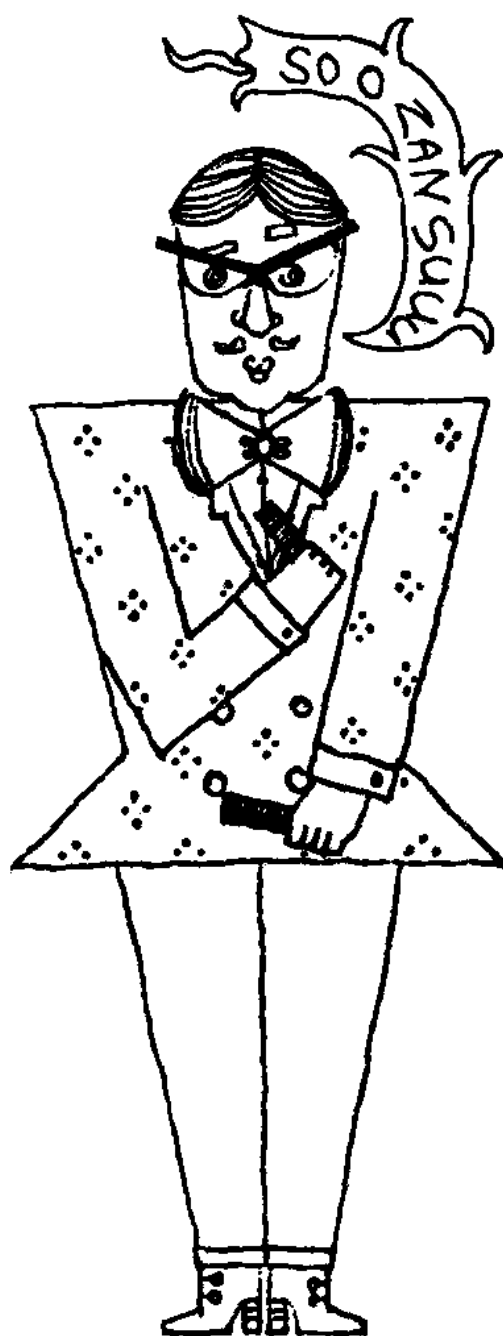
石川啄木^{たくぼく}を読んで、「雲なんかバカだ。バカが空に浮いてるようなもんだ」と信じこんでしまった男。青春を嫌^{きら}い、この世の自然をにくむ。なにもせず、じいっとそこにうずくまっているうちに、自分の体が砂漠^{さばく}になってゆくと思い込んでいる。

左キンゴロー



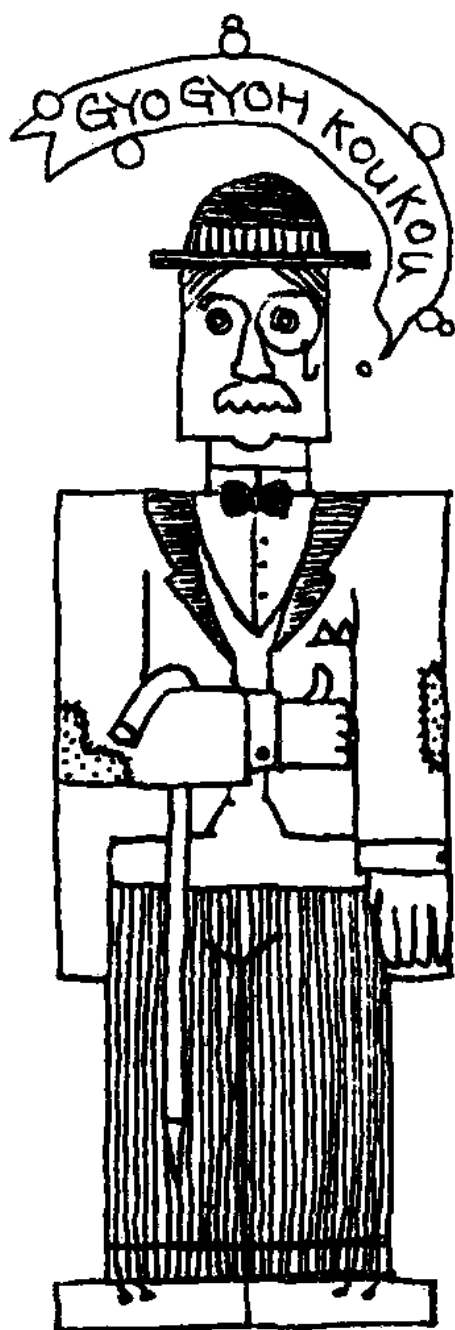
「てやんでえ、べらぼうめ」と言いながら、何でもつくってしまいう大工。「おらあ、いわば神様よお！」と思いこんでいる職人。その心意気でピノキオのゼペットじいさんまがいのことをもくろみ、神様の定めたこの世にインネンをつける。

トニー谷

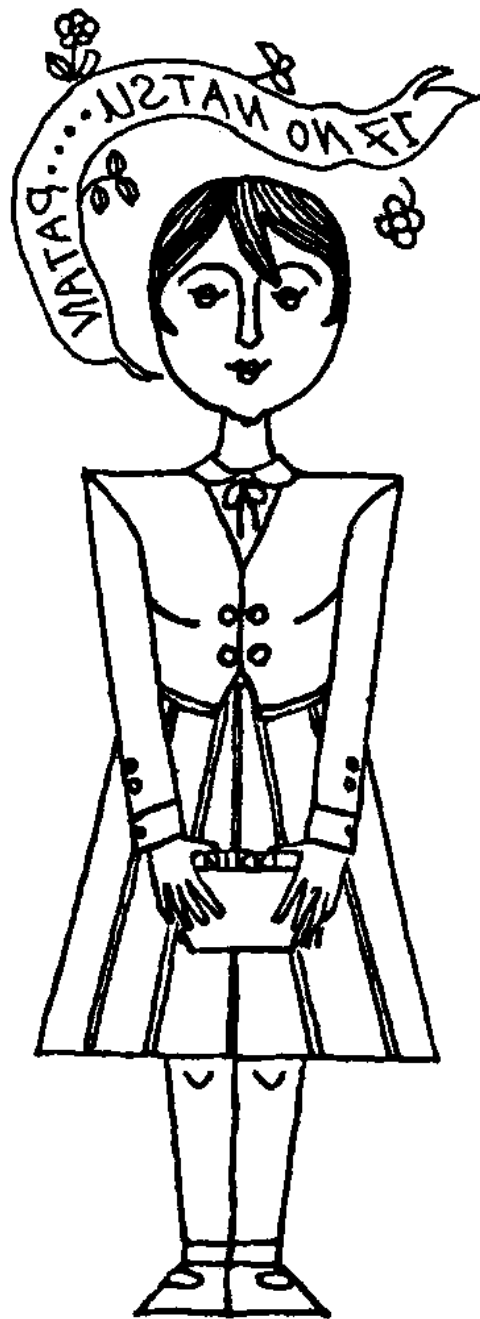


早すぎたエンターテナー。ソロバン片手に、「あなたのお名前なんてーの」と踊りまくっていた往年のスター。ここでは、次々と名を変えて、そのときその場に言葉たくみに順応しながら生き続けるカメレオン。自分の姿をビデオに収めるのが趣味のナルシスト。なぜかレンズは魚眼である。

ドリトル先生

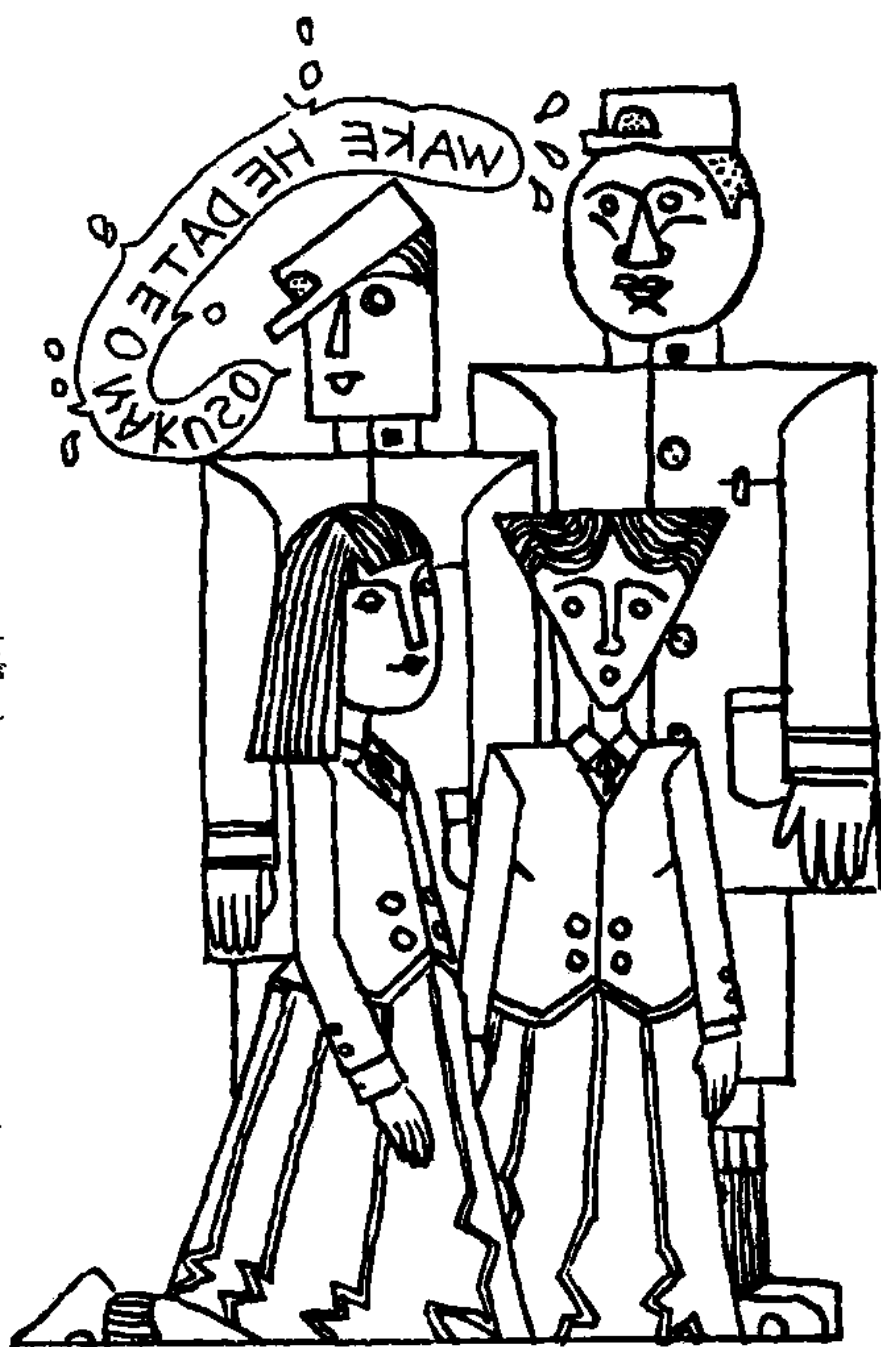


青森県立漁業高校三年A組の担任教師。修学旅行の引率をするたびに、子供を一人置き忘れてくるくせがある。なぜいつも置き忘れるかについては、この本を最後まで読んでわからない。

い
ず
み

青森県立漁業高校三年A組の副学級長。「副」というところが健気けなげでよい。作者のセンスを感じさせる登場人物。クラスメイトの少年王君と交換日記をするうちに、身も心も交換してしまい、少年王君と二度と会えぬさだめとなる。

豆腐屋の娘・弁当屋の^{せがれ}倅・看板屋の娘・屑^{くずや}屋の倅



世の中がスーパーマーケットの時代となり、単一商品名のお店がなくなってゆくことに対する社会批判の思いをこめて描いた登場人物たち。反動体制派とさげすまれ続けている作者が社会批判をしたのは、これが最初で最後である。作者は、本当に心から差別がきらいである。